授業内容

各科目全 30 回※の授業です。　※小学校 B は 18 回

教養試験対策として，「教養チェックテスト」（全 26 回）に取り組むことを強く勧めます。

(1) 教養

（那覇校・火曜日，沖縄校・木曜日）→カリキュラムは，p.45 をご覧ください。

☆ **振替出席ができます。**→振替出席制度については，p.19 をご覧ください。

・ 沖縄県の採用試験の出題の傾向・特徴に合わせた授業内容です。

・ 一般教養・教職教養のうち，教職教養に重点を置いて授業を組んであります。一般教養については，各教科の問題・テキストを配布するので，これにしっかり取り組んでください。

・ 授業では，オリジナルテキスト（30 回分）を使用します。

・ 教材費には，「採用試験過去問題集 一般教養・教職教養（令和 5 年度）」（問題と解説のセット）が含まれます。11 月末に配布を予定しています。

・「教養チェックテスト」を，前半（11 月～2 月初め）に 13 回分，後半（2 月後半～6 月初め）に 13 回分，合計 26 回分を週ごとに配布します。

・ 教材は，各授業の際に教室で受け取ってください。欠席した場合は，事務窓口で受け取ってください。

※ オンライン受講の方は，あらかじめ郵送します。

・ 教育法規⑵～⑶・学習指導要領⑵・教育史⑴～⑵・教育心理⑵・社会科学⑵と教職教養演習の授業では，それぞれ指定された教材を持参してください。

① 一般教養

計 5 回の授業です。

・「社会科学（政治経済・時事）」（2 回）。

・「琉球・沖縄の歴史・文化」（2 回）。

・「自然科学（物理，化学，生物，地学，数学・情報）」（1回：ガイダンス授業）。

※「物理」「化学」「生物」「地学」「数学・情報」各教科・科目のテキストを配布します。

・「人文科学（国語，文学史，英語，日本史，世界史，地理，倫理）」は，授業は実施せず，各教科・科目のテキストを配布します。

② 教職教養

計 25 回の授業です。

教職教養での出題は，「教育法規」「学習指導要領」「特別支援教育」「沖縄の教育・教育時事」「教育史・教育心理・教育原理」「生徒指導文書」がそれぞれ 10 点分ずつ出題されています。授業では，演習問題を数多く解きます。

・「教育法規」3 回　→よく出題される教育基本法，学校教育法，学校教育法施行規則，学校保健安全法，いじめ防止対策推進法，教育公務員特例法，地方公務員法を中心に授業を行います。あわせて近年制定された法令などその他の法令についても触れます。「語句の比較」を活用した，たんなる暗記に頼らない意味のある覚え方や，各法令の関連性及び成立の背景なども解説します。

　→「教育法規」の授業では，「教育法規集」を持参してください。

・「教育原理」1 回　→「教育原理」の「教授・学習理論」と「教育史」は関連性が強いので，1 つの分野と考えてください。「教育原理」の「学習法」「評価の方法」「生徒指導」などは「教育心理」につながっています。関連性を意識した学習が効果的です。

・「教育史」2 回　→沖縄県の教員採用試験で特によく出題される西洋教育史（近世～現代）を中心に，日本教育史の対策も行います。

・「教育心理」2 回　→沖縄県の教員採用試験でよく出題される教育評価，学習，発達を中心に授業を行います。

・「学習指導要領」3 回　→小学校・中学校学習指導要領（平成 29 年 3 月告示）及び，平成 30 年 3 月に公示された高等学校学習指導要領の各「総則」及び「小学校学習指導要領解説―総則編」についての授業を行います。「特別の教科道徳」「総合的な学習の時間」「特別活動」についても学習します。用語補充形式ですが，たんなる暗記に頼るのではなく，全体との関係や教育法規その他の文書との関連性をおさえた解説をします。

　→「学習指導要領」の授業では，「学習指導要領テキスト」を持参してください。

・「教育時事」2 回　→「教育時事」は，文部科学省が出した文書，中央教育審議会答申などを取り上げ，それらが出された背景・ねらい・与えた影響などに着目しながら内容を把握します。教育制度改革に影響を与えた重要な答申は，文中の“キーワード”をおさえた解説をします。

・「生徒指導文書」2 回　→「生徒指導提要（改訂版）」を中心に，いじめや不登校等に関する生徒指導文書を扱います。

・「特別支援教育」2 回　→「特別支援教育」の現状と法令を，各種文書を通じて解説します。特別支援教育関係の法規については，学校教育法・学校教育法施行令・学校教育法施行規則，障害者基本法・発達障害者支援法を中心に授業を行います。学習指導要領については，小学校・中学校・高等学校の学習指導要領及び同解説の特別支援教育に関わる項目及び特別支援学校学習指導要領を

中心に授業を行います。その他文書については過去 5～6 年に出された文書及び未出題の文書を中心に扱います。

・「沖縄の教育」2 回 →沖縄県教育委員会の文書で，出題が予想される「沖縄県教育大綱」「沖縄県教育振興基本計画」「学校教育における指導の努力点」「学力向上推進 5 か年プラン・プロジェクトⅡ」「「問い」が生まれる授業サポートガイド」を中心に授業を行います。二次試験対策のためにも読んでおくべき文書です。

※これらの文書は，入校受付時に全員に配布する予定です。

・「教職教養総合演習」6 回 →講座の最後での演習・解説です。

教職教養総合演習Aは「教育法規」
教職教養総合演習Bは「学習指導要領」
教職教養総合演習Cは「教育時事」「生徒指導文書」
教職教養総合演習Dは「沖縄県の教育」
教職教養総合演習Eは「教育原理」「教育史」「教育心理」
教職教養総合演習Fは「特別支援教育」
の演習をそれぞれ行います。

◎ 教養チェックテスト

配布教材：教養チェックテスト 全 26 回分（前半 13 回分，後半 13 回分）
3,000 円 （教養受講者以外は前半 3,000 円，後半 6,000 円で購入してください）

「教養チェックテスト」を，前半（11 月～2 月初め）に 13 回分，後半（2 月後半～6 月初め）に 13 回分，合計 26 回分を週ごとに配布します。

※なお，マークシートの提出や成績処理はありません。

・1回当たり，一般教養 20 問，教職教養 30 問の計 50 問を出題します。詳しい解説付きです。
・前半の 13 回分は，昨年度出題した問題を一部改訂して配布します。
・教養チェックテスト合計 26 回分と，教養模試を解き，解説で重要ポイントを確認することで，教養試験の得点力を確実に身に付けることができます。合格のためのペースメーカーとして，ぜひ取り組んでください。
・教養受講者に配布する「教養チェックテスト」26 回分の料金 3,000 円は，教養教材費に含まれています。
・教養を受講していない方は，前半 13 回分が 3,000 円，後半 13 回分を 6,000 円で購入することができます。

※「教養チェックテスト」を購入できるのは，今年度の受講生の方です。

小学校

⑵ 小学校 A（那覇校・土曜日＝沖縄校・火曜日）

→カリキュラムは，p.47 をご覧ください。

☆ **振替出席ができます。**→振替出席制度については，p.19 をご覧ください。

指定教材：
(国語)「沖縄県の小学校国語」メセナ予備校 1,200 円
(社会)「シリウス 21　まとめと完成　社会」好学出版 1,155 円
(算数)「高校入試数学 3 年間の総仕上げ」文理 1,210 円
『沖縄県小学校過去問題集（算数）・解説集』(無料)
(理科)『中学総合的研究　問題集　理科』三訂版　旺文社 1,650 円
(音楽)「沖縄県の小学校音楽」4 冊 メセナ予備校 485 円
(図画工作)「沖縄県の小学校図画工作」メセナ予備校 200 円
(家庭)「沖縄県の小学校家庭」メセナ予備校 200 円
・「採用試験過去問題集　小学校平成 29 年度～令和 5 年度実施」及び「前年度の専門模擬試験（2 回分）」合計 300 円

・ 沖縄県の採用試験の出題を考慮した知識事項の習得及び演習を行います。
・ 授業では，「国語，社会，算数，理科」から 2 教科（80 分×2）ずつ学びます。
・ 算数 23 回，国語 13 回，理科 12 回，社会 8 回，の授業です。
・「音楽，図画工作，家庭」の 3 教科は，授業の動画を配信します。テキストと動画で学習してください。
・「国語」は，全 8 問で内訳は、小説 3 問、評論 3 問、古典 2 問です。出典、設問形式ともに多様なため対策は様々なパターンの問題に取り組むことが大切です。漢字の部首・構成、接続詞、挿入文、そして表現を問う問題が出題されます。小説は、心情把握が中心ですが、場面・状況の把握の難しい問題文が、評論では、現代的課題を扱った内容が好まれます。

新傾向としては古典分野で「る」（令和2年度）、「れ」（令和3年度）、「たまひ」「ける」「しずかに」「べし」（令和 4 年度）の文法説明問題や「漢文」の意味を問う問題（令和 4 年度）が出題されるなど受験生の負担は大きくなっています。また令和4年度からコロナ前の大問三の形式に戻ったことにも注意が必要です。

令和 5 年度の古典は、古文が長文になりました。漢文は書き下し文を参考にしながら理解できるように配慮されていました。そして新たに古文と漢文のテーマの共通点を問う問題が

出題されました。

授業では、直近の問題を取り上げて出典を踏まえながら丁寧に解説していきます。

授業では小説・評論・古典分野の問題を三題～四題解いていきます。

・「社会」は，令和5年実施では，小学校学習指導要領から1問，歴史分野から1問，公民分野から1問の計3問の出題であった（令和2・3・4年度実施に続き従前の半分の問題数）。歴史分野は琉球の歴史から「尚巴志の三山統一」「島津（薩摩藩）の侵略」が出題された。しばらく沖縄（琉球）の歴史の出題はなかったが、復活した形である。念のため沖縄（琉球）の歴史も確認したい。令和4年実施では，小学校学習指導要領から1問，地理分野から1問，公民分野から1問の計3問の出題であった。地理分野，公民分野ともに基本的な問題（高校入試レベル）であった。

講座では，これまでの出題傾向を踏まえ，3分野バランスのとれた対策を進めます。今後も，ヤマをはらずに，まんべんなく勉強する姿勢が必要になります。不得意分野をつくらず，沖縄（琉球）の歴史や時事的問題にも注意しながら基本的事項の定着を中心に授業を行います。

・「算数」は，主に中学校で学習する範囲から出題されています。中学校の基本的な内容から，公立高校入試のレベルです。分野の偏りもなく，まんべんなく出題されています。平成27年度までは大問形式が 4 つありました。平成 28 年度から全部単問題形式になり，解きやすく得点しやすくなりました。平成 29 年度実施から文章が長くなり読解力が問われています。授業では中学数学の基礎的なものから過去問題のレベルまでを学習します。

・「理科」は，主に中学校の範囲から出題されています。平成 31 年度までは物理・化学・生物・地学の各分野から 2 問ずつ計 8 問が出題されていましたが，コロナ禍以降は各分野 1 問ずつ計 4 問の出題となっています。中学校理科の範囲をしっかりと基礎固めできれば，合格点を取ることは十分可能ですので，高校受験の参考書を利用して授業を進めます。

なお、平成 30 年度実施の問題において難易度がやや上がりましたが、翌年以降の難易度は平年並みに戻っています。このような出題傾向の変化に動揺することなく、基礎学力をしっかりとつけていくことが大切です。

・「音楽」は，とくに音階と調，和音，拍子，楽器，楽曲について学習します。

・「図画工作」と「家庭」は，過去問題とその解説で，頻出事項を確認します。

・小学校 A では学習指導要領の対策は行いません。小学校Bの受講を勧めます。小学校Bの教材のみの購入もできます。詳細は p.9，p.31 をご覧ください。

・本番と同形式の模擬試験を 2/13（火）～2/18（日），5/13（月）～5/19（日）の 2 回実施します。詳細は p.21 をご覧ください。

それぞれ教養模擬試験とのドッキングの成績表を出します。

⑶ 小学校B 学習指導要領対策講座（那覇校・金曜日，沖縄校・月曜日）

→カリキュラムは，p.50 をご覧ください。

指定教材 ：「小学校学習指導要領テキスト」（3 冊）メセナ予備校
「選択問題・空欄補充問題①～③」（6 冊）メセナ予備校
「演習問題①～③」（3 冊）メセナ予備校　以上 計 3,000 円

・「採用試験過去問題集 小学校平成 29 年度～令和 5 年度実施」及び「前年度の専門模擬試験（2 回分）」合計 300 円 （※小学校 A を受講している方は，必要ありません。）

※ 小学校 B の教材のみを購入する場合は，教材費は 6,500 円となります。ただし，第 3 タームの第 11 講～第 18 講の教材を購入する場合は，授業料相当分（18,000 円）を追加でお支払いください。

・学習指導要領対策の授業を 1/29（月）・2/2（金）より開講します。

・ **専門 180 点のうち，令和 5・4 年度は 80 点分（44%）が，学習指導要領その他の文書からの出題でした。配点が高く，得点源になります。力を入れて取り組むべき分野です。**

・全教科扱います。

・ 学習指導要領解説も扱います。毎年，国語・体育は「解説」から出題されます。令和 5 年度は生活，音楽，総合的な学習の時間も解説から出題されました。各自，「小学校学習指導要領解説」の各教科編を購入しておくことを強く勧めます。

・3 タームに分けて学習します。

◎第 1 ターム （1 講～7 講）	・ 学習指導要領解説も参照しながら，学習指導要領本文の全文について，重要語句を確認していきます。 ・各教科の比較表により共通する語句や異なる語句を確認します。 ・4 択問題で知識の確認をします。
◎第 2 ターム （8 講～10 講）	・教科ごとに 4 択の演習を行います。
◎第 3 ターム （11 講～18 講）	・本番同様の 4 択の演習を計 8 回行います。 ・60 問程度の問題を出題します。 ・ 前回の正答率や間違いが多かった問題などのフィードバックを行います。

数学

⑷ 数学A （那覇校・土曜日）

→カリキュラムは，p.51 をご覧ください。

・ 土曜日は 3 期に分けて学習します。

指定教材：

（11 月） 『新課程チャート式 解法と演習 数学Ⅰ＋A』数研出版 2,134 円

（12～1 月）☆ 『改訂版チャート式 解法と演習 数学Ⅱ＋B』数研出版 2,178 円

※予備校在庫がなくなった場合

『増補改訂版チャート式 解法と演習 数学Ⅱ＋B』数研出版 2，244 円（内容は同じ）

（2～3 月） ☆「オリジナルテキスト（数学Ⅲ）［4 分冊（解答・解説付き）］」

メセナ予備校 718 円

（3～6 月） ★『教員採用試験オープンセサミシリーズ ステップアップ問題集⑷

中学・高校数学 2025 年度版』七賢出版 1,870 円

・「採用試験過去問題集 数学平成 29 年度～令和 5 年度実施」及び「前年度の専門模擬試験（2 回分）」合計 300 円

☆の教材は前年度と同一教材のため，前年度の数学（土曜日）受講者は購入しなくてもよいです。必要であれば購入してください。

★の教材は改訂があったので，2020 年度以前の教材を持っている受講者は購入してください。必要であれば購入してください。

《11 月～1 月》

・ 数学の基礎力定着のために，数学Ⅰ・A，数学Ⅱ・B分野を詳しく解説するとともに，計算スピードアップをはかるために授業の最後にチェックテストを配布して，速く，正確に答えを出せるように訓練します。

・ 定理・公式を覚えるだけでなく，使って慣れることができるように，定理・公式の証明を授業の中で多く取り入れます。

《1 月～3 月》

・ 出題難易度の幅が広く，得点差がつきやすい分野である微分・積分強化月間として，数学Ⅱの内容から数学Ⅲについての計算力アップをはかります。

・ 数学Ⅱについては，授業の最後にチェックテストを配布して定着が図れるようにします。

《3 月～直前期》

・ 沖縄県の採用試験の出題範囲は，中学校・高等学校の教科書レベルから大学入試レベルの問題まで幅広いです。
・ 全分野をまんべんなく学習します。
・ 1 回の授業で 1～3 単元を基本に，解答解説をします。
・ 限られた時間内で相当量の問題を解くスピードを養うために，チェックテストを用意します。
・ 最後の 2 回は本番と同形式の総合演習問題を用意して実践力をつけてもらいます。
・ 本番と同形式の模擬試験を 2/13（火）～2/18（日），5/13（月）～5/19（日）の 2 回実施します。詳細は p.21 をご覧ください。

それぞれ教養模擬試験とのドッキングの成績表を出します。

⑸ 数学B 数学Ⅲ対策講座（那覇校・木曜日）

→カリキュラムは，p.53 をご覧ください。

指定教材 ：☆『数学Ⅲ基礎問題精講』旺文社 1,430 円

・「採用試験過去問題集 数学平成 29 年度～令和 5 年度実施」及び「前年度の専門模擬試験（2 回分）」合計 300 円

※数学 A を受講している方は，300 円は必要ありません。

☆の教材は前年度と同一教材のため，前年度の数学（木曜日）受講者は購入しなくてもよいです。必要であれば購入してください。

・ 木曜日に難易度の幅が広い数学Ⅲ中心の講座を開講します（別途教材費，授業料が必要です。p.9～11 をご覧ください）。
・ 単元終了ごとに演習を行い，どの程度定着できたかを確認していきます。
・ 沖縄県の採用試験は，平成 24 年度採用試験から全問マーク式ですが，本講座の授業では記述の問題にも取り組みます。数学教師としての本物の力を磨くよう指導します。
・ 平成 31 年度実施，令和 2～5 年度実施採用試験の過去問を解いてもらい，その解説を行います。
・ 令和 4 年度実施採用試験の数学（中学校・高等学校）の一次合格者6名のうち3名が，専門週 2 日（木・土）の受講者でした。

⑹ 中学社会

→カリキュラムは，p.55 をご覧ください。

指定教材 ： ☆大学入学共通テスト対応「地理ノート」山川出版社 1,320 円
「詳説日本史 B」山川出版社 860 円
「詳説世界史 B」山川出版社 877 円
☆「30 日完成スピードマスター日本史問題集」山川出版社 737 円
☆「30 日完成スピードマスター世界史問題集」山川出版社 737 円
☆「日本史センター問題集」メセナ予備校 500 円
☆「世界史センター問題集」メセナ予備校 500 円
☆「日本史一問一答問題集」400 円
☆「世界史一問一答問題集」400 円
「政治経済必修テキスト」メセナ予備校 800 円
『2023 ズームアップ政治・経済資料』実教出版 990 円
☆「政治経済センター問題集」メセナ予備校 400 円
★「政治経済基本事項チェック問題」メセナ予備校 300 円
・「学習指導要領問題」メセナ予備校 279 円
・「採用試験過去問題集 中学社会平成 29 年度～令和 5 年度実施」及び「前年度の専門模擬試験（2 回分）」合計 300 円

☆の教材は，前年度・前々年度と同じ教材です。前年度・前々年度に受講した方は購入しなくてもよいです。必要な方は購入してください。

★の教材は，改訂がわずかなため，前年度受講者は購入しなくてもよいです。必要であれば購入してください。

・毎回の授業で，「地理」「歴史」「公民」から 2 分野（80 分×2）ずつ学びます。地理 19 回，歴史 23 回，公民 14 回の配分とします。
・各分野とも，高等学校レベルの問題が数多く出題されています。
・「学習指導要領」については，令和 5・4 年度は 45 問中 10 問，令和 3・2 年度は 50 問中 10 問，平成 31 年度実施採用試験は 90 問中 15 問出題されました。毎回の授業でチェックテストを用意しますので，各自で学習してください。
・「地理的分野」については，令和5年度実施採用試験では令和4年度実施と同様に多様な問題が出題されました。主要国の穀物と畜産物の生産量・中国の地誌（人口・経済特区・少数民族・経済発展）・沖縄県の入域観光客数・日本の漁港別水揚げ高・日本の地場産

業・日本の地方風「やませ」・日本の発電電力量の推移など高校入試のレベルの問題から高校「地理 B」の内容まで実に様々な分野から出題されています。ヤマをはらず地理分野の多様な問題に対応できなければなりません。

対策としては，日頃から中学校の地理の教科書を精読して地理分野の基礎的事項を押さえること。さらに，高校「地理B」の内容（大学共通テストレベル）の地理用語や沖縄県の地理に関する基本事項まで学習しておく必要があります。日頃から新聞等を読んで地理的な情報に関心をもつ態度も大切です。あらゆる機会をつくって地理の知識・データを確認することでする。授業では，高校「地理 B」の内容を効率よく整理した教材を通年で使って，ヤマをはらずまんべんなく学習していきます。地理の基礎的な問題から共通テストレベルや時事的な問題にも興味関心を持ち，柔軟に対応できるほどの勉強量が必要とされます。

・「歴史的分野」は，日本史と世界史はほぼ同じ数の問題が出題されていましたが，令和 5 年度は，世界史が 4 問，日本史が 7 問，令和 4 年度は，世界史が 5 問，日本史が 9 問出題されました。日本史・世界史ともに共通テスト（センター試験）の基礎レベルの内容となっています。授業では，山川の「日本史B」「世界史B」の教科書と「まとめ」を使って，各単元の「流れ」をつかみながらキーワードを確認していきます。毎回のチェックテストにより，知識の定着を図ります。センター問題集と毎回配布する過去問題を必ず解いて，教科書の該当ページを参照し，理解を深めてください。「琉球・沖縄の歴史と文化」についてはテキスト及びチェックテストを配布します。

・「公民的分野」については，令和 5 年度は 11 問中 2 問，令和 4 年度は 7 問中 2 問，令和 3 年度は 9 問中 4 問が時事的な内容でした。数年前までは語句選択が多かったのですが，最近は文選択問題が多く，問題が難化しています。授業では「政治経済」「公共」の内容・レベルに合わせて授業を行います。テキストは主に「政治経済必修テキスト」を使用します。毎回，各単元の内容に関するチェックテストを実施します。またセンター問題集でテキストの内容の理解を深めてもらいます。公民的分野の教科書レベルの問題のうちほとんどが「政治経済必修テキスト」と「政治経済基本事項確認問題」に掲載されているのでこの 2 冊をしっかり学習してもらいます。令和 5・4・3・2 年度のように高校の教科書レベルを超えた問題が出されることもあるので，日頃から新聞を読むこと，「政経資料集」を読むこと，各省庁のサイトにある白書・統計などの資料を利用することで各自知識を深めてください。

・本番と同形式の模擬試験を 2/13（火）～2/18（日），5/13（月）～5/19（日）の 2 回実施します。詳細は p.21 をご覧ください。

それぞれ教養模擬試験とのドッキングの成績表を出します。

地理分野の推薦教材：『村瀬のゼロからわかる地理 B　系統地理編』学研 1,650 円
『村瀬のゼロからわかる地理 B　地誌編』学研 1,650 円
『データブック オブ・ザ・ワールド 2024 年版』二宮書店 730 円
※2024 年 1 月 10 日ごろ発売予定。

歴史分野の推薦教材：『山川 詳説日本史図録 第 10 版』山川出版社 990 円
『山川 詳説世界史図録 第 5 版』山川出版社 990 円
※閲覧用を書棚に設置しておきます。

公民分野の推薦教材：『日本国勢図会　2023／24 年版』矢野恒太記念会 3,300 円

琉球・沖縄の歴史と文化の推薦教材：『教養講座 琉球・沖縄史』
沖縄歴史教育研究会 新城俊昭著／東洋企画 2,200 円

以上，各自で購入してください。

⑺ 公民

→カリキュラムは，p.58 をご覧ください。

指定教材 ：「政治経済必修テキスト」メセナ予備校 800 円

『2023 ズームアップ政治・経済資料』実教出版 990 円

★「政治経済基本事項チェック問題」メセナ予備校 300 円

★「政治経済・現代社会センター分野別問題集」6 冊メセナ予備校 1,200 円

「学習指導要領問題」メセナ予備校 164 円

★『テオーリア最新倫理資料集』第一学習社 946 円

☆「倫理必修テキスト［上・下］」メセナ予備校 800 円

☆「倫理問題集［上・下・テーマ別］」メセナ予備校 600 円

☆「倫理空欄補充問題集」メセナ予備校　300 円

★「倫理センター分野別問題集」10 冊メセナ予備校 1,000 円

・「採用試験過去問題集 高校公民平成 29 年度～令和 5 年度実施」及び「前年度の専門模擬試験（2 回分）」合計 300 円

★の教材は，改訂がわずかなため，前年度又は前々年度に購入した方は購入しなくてもよいです。必要であれば購入してください。

☆の教材は，前年度までと同じものです。これまでに公民を受講したことがある方は購入しなくてもよいです。必要であれば購入してください。

なお，倫理・政治経済の過去問分野別問題は，各単元の授業でそれぞれ配布します。

- 公民には「公共」「倫理」「政治経済」の 3 つの科目がありますが，「公共」は他と共通する内容が多いので，「倫理」と「政治経済」の 2 科目に分けて授業を行います。
- ほぼ毎回の授業で，「政治経済」「倫理」の 2 分野（80 分×2）を学びます。（「政治経済」は 34 回，「倫理」は 21 回の授業）
- 平成 31～28 年度実施採用試験では，問題数が 60 問に減り，難問も減りました。令和 5 年度～令和 2 年度は時間短縮により問題数が 35 問（1 問 5～6 点，令和 2 年度は 30 問（1 問 6 点））・となりましたが，難問がいくつかあり，これが合否を分けました。各科目とも基本的には高校の教科書レベルの問題が出題されます。基本事項をまんべんなくおさえておくことが重要です。合格ラインである 8.5 割程度の得点が目標です。
- 「高等学校学習指導要領」については，自学できるよう演習問題を用意します。
- 本番と同形式の模擬試験を 2/13（火）～2/18（日），5/13（月）～5/19（日）の 2 回実施します。詳細は p.21 をご覧ください。

それぞれ教養模擬試験とのドッキングの成績表を出します。

・ 本番と同形式の模擬テストを 4/13(土)に実施します。模擬テストは，授業時間内の受験のみです。

〈政治経済〉

・ 単元ごとに「政治経済必修テキスト」を用いて解説を行います。
・ センター試験の「政治経済」「現代社会」の分野別過去問題集 6 冊(解説付き)の問題と解説すべてに目を通しておいてください。
・ 教科書レベルを超える出題もあります。『用語集』で用語の説明を逐一チェックすることを勧めます。さらに，新聞や『現代用語の基礎知識』などの用語事典，各省庁や衆議院・参議院，最高裁判所，日本銀行などのサイトにある白書・統計などの資料を利用して各自知識を深めてください。
・ 毎回の授業で正誤問題のチェックテストを行います。
・ 毎回の授業で法令・統計その他必要な資料を配布します。

〈倫理〉

・ 4 月まで思想分野を中心にオリジナル教材の解説をします。歴史的なつながり，各思想の意義を確認し，思想家とキーワードをしっかり結び付けられるようにします。
・ 5 月以降は，徹底して演習問題を解いてもらい，満点を目指します。
・ 毎回記述式及び正誤問題のチェックテストを行います。
・ 山川出版社の『倫理用語集』は各自購入しておいてください。

政治経済の推薦教材：『用語集 公共＋政治・経済 23-24 年版』清水書院 1,045 円
『日本国勢図会 2023／24 年版』矢野恒太記念会 3,300 円
倫理の推薦教材： 『倫理用語集 第 2 版』山川出版社 880 円
各自で購入してください。

保健体育

⑻ 保健体育Ａ （那覇校・土曜日）

→カリキュラムは，p.61 をご覧ください。

推薦教材 :『(新)中学校学習指導要領解説―保健体育編―』東山書房
『(新)高等学校学習指導要領解説―保健体育編・体育編―』東山書房

販売教材:「採用試験過去問題集 保健体育平成 29 年度～令和 5 年度実施」及び「前年度の専門模擬試験(2 回分)」合計 300 円

・1/27(土)までは「学習指導要領解説」や「各運動分野の技能の内容」の出題箇所の穴埋め問題と過去 2・3 年分程度の過去問分析，20 分程度の分野別チェックテストを行い，翌週に正答率の低い問題のポイント解説を行います(間に 10 分程度の休憩を入れる)。

・ 2/3(土)からは試験本番にあわせた対策プリント(マークシート形式)を解いてもらい(翌週の火曜日まで受験可能)，翌週に個票を返却し，正答率の低い問題のポイント解説を文書にして配布します。

・ 正答率の低い問題は繰り返し出題することがあります。

・ 授業では，中学校学習指導要領解説と高等学校学習指導要領解説及び要点のまとめ，沖縄県の採用試験の出題の傾向・特徴に合わせたオリジナル演習問題を使用します。

・ 各運動分野の技能の内容については，中学校・高等学校で使用されている教材をもとに予想問題を作成します。

・ 時事問題や，文部科学省・スポーツ庁が出した文書，沖縄県教育委員会が出した文書では，最新の資料を使い問題を作成します。

・ 学習指導要領解説から出題される重要語句を，いろいろなパターンの穴埋め問題で確認し定着を図ります。

・ 沖縄県の採用試験は全問選択肢からの択一問題ですが，記述穴埋めを取り入れることで，重要語句の定着を図ります。

・ 授業では，演習問題を繰り返し解きます。

・ 本番と同形式の模擬試験を 2/13(火)～2/18(日)，5/13(月)～5/19(日)の 2 回実施します。詳細は p.21 をご覧ください。
　それぞれ教養模擬試験とのドッキングの成績表を出します。

・ 本番と同じ形式の実力診断模試を 12/23(土)に実施します。また本番と同形式の保健体育模擬テストを 3/16(土)・4/13(土)・5/18(土)の 3 回実施します(翌週の火曜日まで受験可能)。

⑨ 保健体育Ｂ （那覇校・水曜日）

→カリキュラムは，p.63 をご覧ください。

推薦教材 ：『中学体育実技 2023―沖縄県版―』学研
『アクティブスポーツ 2023―総合版―』大修館書店
『ステップアップ高校スポーツ 2023』大修館書店
『新中学保健体育』学研
『中学校保健体育』大日本図書
『現代高等保健体育』大修館書店

販売教材:「採用試験過去問題集 保健体育平成 29 年度～令和 5 年度実施」及び「前年度の専門模擬試験(2 回分)」合計 300 円 ※保健体育 A を受講している方は必要ありません。

・ 競技には多くの種目があります。その知識，ルールについて各分野ごとに用語の確認や過去問の解説などを行います。
・ 保健分野の知識問題，時事問題について用語の確認や過去問の解説などを行います。
・ 3/13(水)からは，記述型＋択一型の演習を用意して，知識の定着を図ります。自己採点してもらい，正答率の低い問題については，翌週に解説を行います。

⑽ 養護教諭

→カリキュラムは，p.65 をご覧ください。

推薦教材：▽『2025年度版　どこでも！　養護教諭試験　要点チェック』TAC出版　1,650円

指定教材：Web上に公開されている資料のURLリスト（印刷物）　メセナ予備校　200円

☆Web上に公開されている資料のURLリストとダウンロード済みファイルなど（電子データ／DVD-ROMとmicroSD）　メセナ予備校　0円（無償貸与）

・「採用試験過去問題集 養護教諭平成29年度～令和5年度実施」及び「前年度の専門模擬試験（2回分）」合計300円

必須教具：◆zoom（ミーティングクライアント）のインストールまたは最新版への更新済みの Chromebook または Windows や macOS で動作する PC やタブレット

〈注意〉講義で必須の zoom のファイル共有に対応していない次の機器は**不可（NG）**です。

→ **（NG）** Android または iOS のみで動作するスマートホンやタブレット

▽の教材‥個人での購入をお願いします。出版社に会員登録すると，定価の10％引き（税込1,485円）かつ送料無料（日本郵便のゆうパケットで宅配）で購入できます。

⇒　https://bookstore.tac-school.co.jp/book/detail/110128/

☆の教材‥無償貸与するメディア（DVD-ROMとmicroSD）は，原本（バックアップ用途）として扱ってください。普段使いには，コピー※1したデータを用いると良いです。

※1　コピーができない受講生は申し出てください。個別に対応します。

◆の教具‥画面サイズが11～13インチのミニPCを使用する受講生が多いです。新たに準備する受講生には，安価かつ学校現場での普及が目覚ましい Chromebook を推奨します。データを活用するための必須アプリ※2のインストールもお願いします。

※2　無償のPDFリーダー（Acrobat Reader DC®を推奨）だけは，必ず準備しておいてください。講義内では，有用なアプリ（無償または有償（ただし安価））も紹介していきます。

・過去問演習と採点結果をもとにした解説をオンライン授業※3で行います。

※3　zoomの共有画面に問題や資料を表示して進めます。受講生が音声で参加する場合もあります。

・専門試験対策の勉強では，Webサイトに公開されている資料（主にPDF型式の文書データ）を検索・参照※4しながらすすめる機会が，とても多いです。過去には，すべての資料を紙で配布したこともありましたが，膨大な量になり，整理に圧倒されて効率的ではありませんでした。その反省から，本講座では紙資料の配布を原則行わず※5，同等の文書データを配布して，ICT機器上で活用していきます。

※4　主な検索先のWebサイトは「文部科学省」「公益財団法人　日本学校保健会」「独立行政法人　日本スポーツ振興センター」「電子政府の総合窓口（e-Gov　イーガブ）」「厚生労働省」「環境省」です。

※5　印刷は，ご自身で必要な箇所を選んで，お願いします。本県の採用試験実施要項には出願手続（電子申請）で「必要な環境」に「プリンター」と「A4用紙」が明記されています。同じ用途ですので，兼用してください。なお，2023年9月現在，A4サイズ両面印刷が可能でWiFi接続できるモノクロレーザープリンタ（推奨：ブラザー　HL-L2375DW）は，比較的安価で，amazonでは約11,000円（税込）です。

・本県の過去問と，出題形式や傾向が本県の採用試験に似た県外の過去問を用います。

・通年で計28回実施する過去問演習（各170分間）は，次の時間配分を目安に進めます。

（60分）	➡	（20分）	➡	（10分）	➡	（80分）
演習URLの開示※6 演習・答案提出※7		採点結果の確認 調べ		休憩 成績速報配布※8		演習問題解説 口頭試問

※6　zoomのチャット（メッセージ）経由で，演習開始の手続き画面のURLを開示します。そのURLから，ZepGrade（ジップグレード）（オンライン演習システム）上の問題と答案用紙を用いて演習（オンライン受験）します。詳しくは，別途配付の「**ジップグレイド（ZipGrade）の簡易操作ガイド**」をご覧ください。

※7　演習後の答案を，ZipGrade経由で提出（オンライン提出）します。自身の採点結果は，ZipGradeの学生ポータルにログインして，随時確認することができます。

※8　zoomのチャット（ファイル共有）経由で，演習結果の速報（クラス集計）を配付します。**NG機器**では，この配布ができないので留意してください。

・毎回の講義中（または講義後）に，過去問演習で用いた問題・答案用紙や成績個票および解説や調べで参照する補足資料など，一般に“資料”とよばれるものを，PDF形式の文書データかつメール添付で配付します。当日欠席者には，追試受験を条件に，配付します。

・一次試験終了後のフォローアップとして，本講座受講生（過去の受講生も含む）を対象に，“自己採点会”を開催しています。ZipGrade経由で参加でき，参加者には速報や成績個票を配付します。また，集計結果による推定ボーダーや設問評をシェアします。

・本番と同形式の模擬試験を 2/13（火）～2/18（日），5/13（月）～5/19（日）の 2 回実施します。詳細は p.21 をご覧ください。

それぞれ教養模擬試験とのドッキングの成績表を出します。

⑾ 二次対策総合講座

→カリキュラムは，p.67 をご覧ください。

☆ **振替出席ができます。**→振替出席制度については，p.19 をご覧ください。

●本講座は重要性を増す二次試験＝人物試験に向けて万全の対策を目指します。

・正解はありませんが、好ましい回答はあります。それを講義で探していきます。そのためには、知識のインプットとアウトプットが欠かせません。それを講義で実践していきます。

・質問のパターンは以下の 5 つ

① 模擬授業終了後の質疑応答 （例）自己採点で何点ですか。改善点はどこですか。

② 受験調書を基にした質疑応答（例）志望動機。自己 PR。ガクチカ。ボランティア活動等。

③ 掘り下げ（追加質問）パターン

（例）～を具体的に説明してください。（回答した後に）もっと具体的に述べてください。

～その後どのように対応しますか。（回答した後に）それでもうまくいかない場合は？

～の場合はどのように対応しますか。（回答した後に）それ以外の対応はありますか？

～どのように取り組みましたか。（回答した後に）どのような役割を果たしましたか？

④ 場面指導（ありありと場面が想像できるように演じること）

（例）SNS でのトラブル。学級開きでの挨拶。不登校の児童生徒の登校。不自然なケガ。

保護者からのクレーム。同僚の体罰。安全対策・危機管理。ICT の活用。

⑤ 最後に一言

●講義内容

・毎回の講義では「教育課題」「教育施策」「教育キーワード」等の解説と質疑応答を実施

・教育課題への取り組み

・沖縄県の教育施策

・学習指導要領が目指す教育

・受験調書と自己 PR

・面接における質問と回答

・説明型とパフォーマンス型の場面指導

※「論文」が試験科目になった場合でも対応できる知識と論理構成、そして記述力が身につくように指導します。

主な担当講師の紹介

伊禮 春孝「高校公民（政治経済・倫理）」「中学社会（公民・歴史）」「小学校（学習指導要領）」「教職教養（教育法規，学習指導要領，特別支援教育，沖縄の教育）」「一般教養（社会科学・人文科学）」担当

古堅 淳二「教職教養（教育原理，教育時事，教育史，教育心理，生徒指導文書）」「小学校（社会）」「中学社会（地理）」担当

成底 健「小学校（算数）」「数学」「保健体育」担当

國吉 朝之「小学校（理科）」「一般教養（物理・化学・生物・地学・数学・情報））」担当

津覇 實明「二次対策総合講座」「小学校（国語）」担当

永井 秀樹「養護教諭」担当